

■開催日時：令和6年5月20日(月)午後7時～8時

■開催場所：オンライン（Zoom）開催

■出席委員：川村委員、久松委員、柳委員、豊久委員、竹内委員、犬飼委員 <以上6名>

■事務局：檜出センター長、鈴木副センター長、塚澤地域福祉推進係主任

1. 報告事項

1. 事業報告について

事務局より、4月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談について説明があった。

委員長：更新しなかった団体だが、子どもの健全育成の分野の団体が多いようだが、理由はあるのか。

事務局：活動の目的が完了したこと、代表の高齢化により活動が縮小したこと、活動を休止したことなど、それぞれの団体より連絡をうけている。

委員：Dannacyの活動について聞きたい。年代はどれくらいか。当事者がいるのか。

事務局：代表は40代前後でご息が車いすを利用しているようだ。先日も文理台公園で車椅子のまま使用できる移動トイレの発表会イベントを開催するなど活発に活動している。

委員：FM西東京でも番組のゲストで活動の話をしてもらった。

2. 5月以降の事業について

事務局より、5月以降の実施事業について説明があった。

委員長：地域協力ネットワークは問題なく活動しているのか。

事務局：南部地域と中部地域は代表が交代した。

委員長：昨年度、世代交代のパワーアップ講座を開催したが、そのお陰で世代交代がうまくいったのだとよいと思う。

事務局：世代交代はなかなか難しいと感じている。

2. 審議事項

1. 前回の会議録について

委員長：意見がなければ確定稿とする。

3. 協議事項

1. サロンDEこらぼについて

事務局より、サロンDEこらぼについて説明があった。

委員長：サロンスペースを有効活用して市民活動団体同士の交流や、市民などによる小さなイベント、ワークショップなどアイデアを出して欲しい。サロンでは飲食は可能なのか。

事務局：仕様書上、軽食は可能となっている。

委員長：アルコールはどうか。

- 1 事務局：飲酒は不可としている。
- 2 委員：サロンスペースの適正人数は何人か。
- 3 事務局：10人くらいが適正、多くても12人くらいまでだと思う。
- 4 委員長：会場が小さいので、顔見知りになりやすく感じる。
- 5 委員：場所的に田無駅の南口は北口からアクセスするのが難しかったり、ゆめこらぼを知らなかったりする。ゆめこらぼに行かなくても、活用できる方法はないかと考えている。ハイブリッド会議などで、コアメンバーはサロンに集まり、リモートでも参加できることで参加しやすくなるように思う。図書館との連携では、図書館とコミュニケーションをとれる方法があればよい。芝久保公民館はWi-Fiがあるので、リモート相談も受けられるのではないかと。ゆめこらぼのホームページを見ると図書コーナーがあるので、その本をクリックすると図書館のホームページに飛び、本の詳細が見られるようにできるのではないかと。
- 12 委員長：ゆめこらぼはWi-Fiも使えるし、iPadもあるので、それを活用できるとよい。図書館は使い慣れていない人も多いので、図書館の利用方法や本の借り方などのレクチャーもよい。
- 14 委員：サロンDEこらぼのターゲットはどのあたりなのか。若者であればSNSを活用した広報が有効かと思うが、高齢者には難しいと思う。学生に対してはSNSを利用することで可能性が出てくると思う。
- 17 委員：学生はそういうスペースがあることを知らないなので、しっかり知らせていく事も必要になると思う。
- 19 委員：登録団体としてゆめこらぼに行く機会がないのだが、離れていてもゆめこらぼとのつながりを感じるという意味で、図書館が選んだ本の紹介をその意図なども添えてあると興味がわくしInstagramの投稿数も増えるのではないかと。
- 22 委員長：選んでくれた本のポイントや案内を短くても良いのでSNSで発信すると興味がわく。
- 23 事務局：置かれている本の案内はしたいと思っていた。図書館にお薦めポイントを聞きInstagramにアップしていくのはよい方法だと思う。図書館を呼んでレクチャーもよいと思う。
- 25 委員：ホームページの本の写真で目当ての本をクリックし、図書館の検索状況のURLをリンクすると紹介文とともにリンクが反映されていれば、図書館に借りに行くアクセスになるのではないかと。
- 28 委員長：図書館の方とコラボしたサロンDEこらぼをするのも良いのではないかと。
- 29 委員：登録団体の方とコラボして団体の方を主体としてサロンに集まってもらうなど、映画とか興味のあるもののテーマを元に人を集めることもできるのではないかと。
- 31 委員長：上映会は権利の問題もあるので、映画を見てきてもらって感想を述べる会とか、「推し」について語り合う会とかよいのではないかと。
- 33 事務局：確かに本なども読んできてもらい感想を述べるのもよいと思う。
- 34 委員：目的が市民活動の紹介、市民活動の普及啓発だとすると、似たような団体同士を紹介し合うとか、その様子を発信するとか。
- 36 委員長：似ている分野同士が集まる機会はあまりないので良いのではないかと。サロンDEこらぼは年に何回、実施するのか。
- 38 事務局：事業計画では年15回を予定しているが、図書館のレファレンスサービスを毎月実施し、年39 12回実施としている。

- 1 事務局：かつて、10人くらいの規模で集まり団体の紹介等やっていた。コロナ禍で集まることができ
2 なくなり中断していた。近いテーマで集まり、意見交換をするなどはゆめこらぼらしいと思
3 う。
- 4 委員長：私も、ぶーけを登録したころサロンで障がい者福祉について何も知らない方たちに話をし、
5 活動や伝えたいことを参加者に聞いてもらうことをやっていたことがある。いろいろ意見が
6 出たが、できそうなこと等はあるだろうか。
- 7 事務局：図書館のレファレンスを紹介していくことは順次実現できると思う。サロンに人を呼ぶとか
8 発信することはゆめこらぼ内で検討を進めていきたい。
- 9 委員：各図書館に来てもらいおすすめ図書紹介をサロンでやってもらおうと、図書館の紹介にもなる
10 と思った。
- 11 委員長：意見や機材を活用して認知度を上げてもらいたい。

12

13 **そ の 他**

14 1. 次回運営委員会日程について

15 日時：令和6年7月16日（火）19時～20時

16 会場：オンライン（Zoom）